

愛知県宅地耐震化推進事業

計画概要

◆計画期間

平成29年度から令和3年度まで(5年間)

◆計画の目標

愛知県では耐震対策の一環として、平成21年度より大規模盛土造成地の変動予測調査に着手し、大規模盛土造成地の抽出(第1次スクリーニング)を行っている。第一スクリーニング後、安全性把握に向けた優先度評価(第2次スクリーニング計画)及び安全性把握(第2次スクリーニング)を行い、この結果により必要に応じて造成宅地防災区域の指定や勧告及び滑動崩落対策工事を実施し、宅地耐震化を進めていくこととしている。

本計画では、未調査の8市町において第1次スクリーニングを実施し、抽出された大規模盛土造成地のマップを作成、公表することを目標とする。また、第1次スクリーニングが完了した全21市町において第2次スクリーニング計画の作成を完了することを目標とする。

◆計画の成果目標(定量的指標)

指標①: 調査対象市町について第1次スクリーニングをすすめ、第1次スクリーニング結果の公表率を増加させる。(公表済み市町数/調査対象市町数)

指標②: 調査対象市町について変動予測調査の深度化をすすめ、第2次スクリーニングに向けた優先度評価を完了させる。(優先度評価完了市町数/調査対象市町数)

評価内容

◆交付対象事業の進捗状況

交付対象事業	事業費※	事業の実施状況	進捗率※
A 宅地耐震化推進事業	283百万円	—	88%
B 関連社会資本整備事業	0百万円	—	—
C 効果促進事業	0百万円	—	—
合 計	283百万円		

※事業費は実績額

※進捗率(%)は事業計画に対する実施割合【事業費ベース】

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況（別紙1）

「大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン(国土交通省)」に基づき、第1次スクリーニングで作成した大規模盛土マップを公表し、大規模盛土造成地が身近に存在することを住民へ情報提供することにより、住民の防災意識の向上が図られた。また、大規模盛土造成地の安全性把握に向けた優先度評価(2次スクリーニング計画)の完了により、今後行う2次スクリーニングの効率的な遂行が可能となった。

Ⅱ 定量的指標の達成状況

指標①(第1次スクリーニング結果の公表率)

最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	—
最終実績値	100%		

指標②(大規模盛土造成地の安全性把握に向けた優先度評価の達成率)

最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	—
最終実績値	100%		

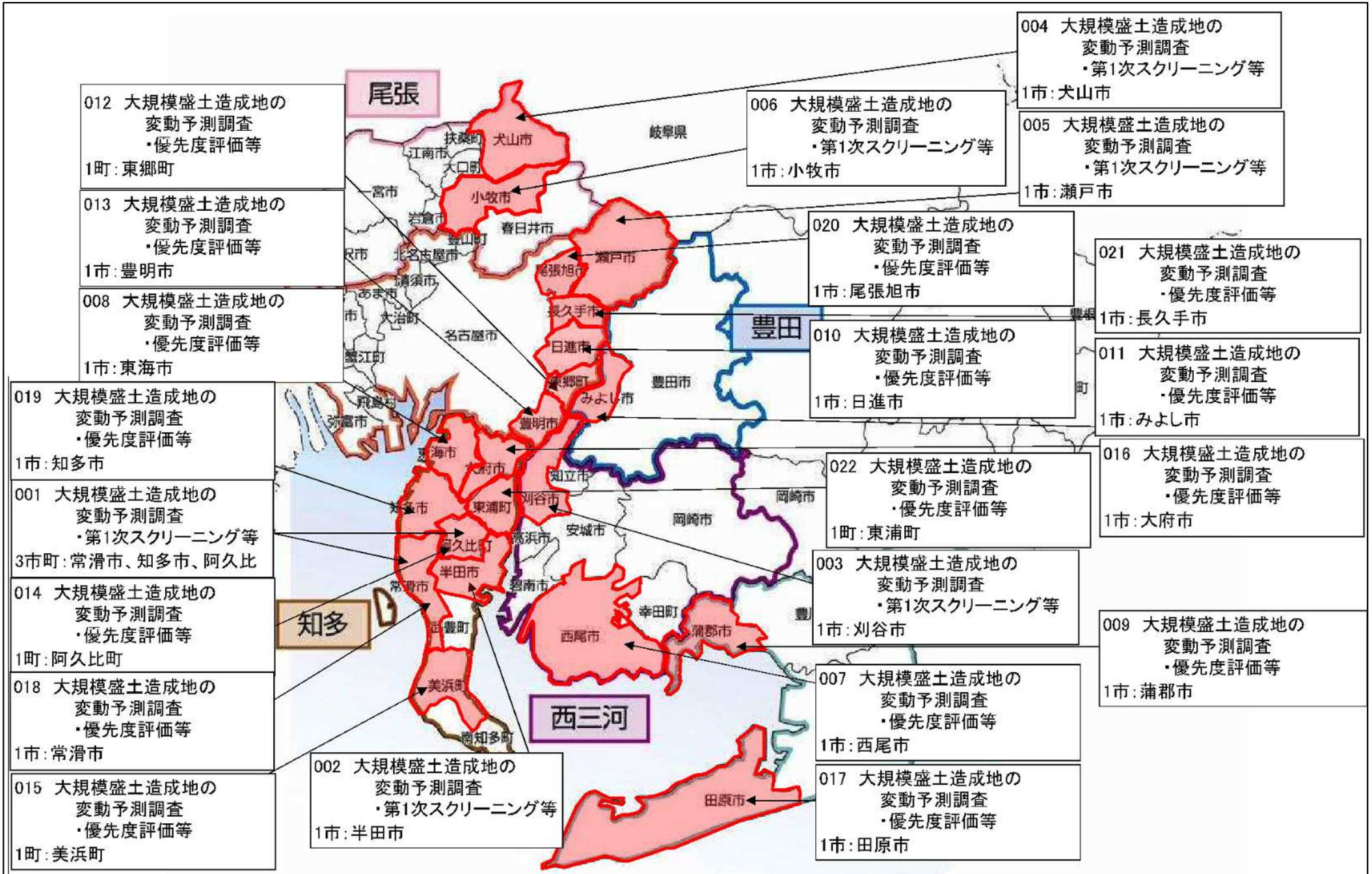
◆今後の方針

優先度評価(第2次スクリーニング計画)に基づき、大規模盛土造成地の安全性把握(第2次スクリーニング)を計画的に実施していくとともに、その結果を踏まえて、造成宅地防災区域の指定、経過観察及び滑動崩落防止工事等に係る措置を行っていく。

◆事後評価の実施体制、実施時期

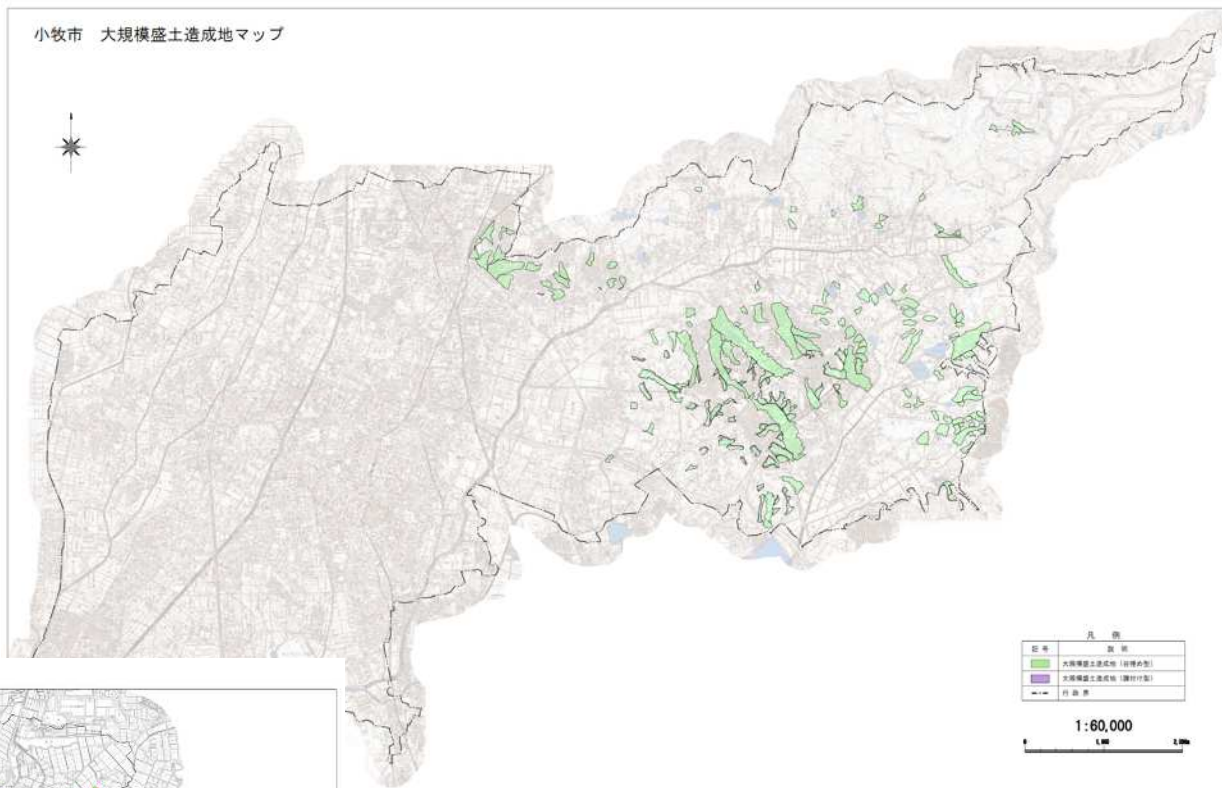
事後評価の実施体制	愛知県 建築局 建築指導課 開発グループ
事後評価の実施時期	2023年7月
公表の方法	愛知県WEBページ掲載 (http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenchikushido/kaihatu-takuzou-takutitaisin.html)

参考図面



【基幹事業】

- 事業名 宅地耐震化推進事業
- 業務概要 大規模盛土造成マップの作成及び公表
- 事業箇所 小牧市内
- 事業主体 小牧市
- 事業効果 住民への情報提供及び啓蒙



常滑市 大規模盛土造成地マップ (1/2)



【基幹事業】

- 事業名 宅地耐震化推進事業
- 業務概要 大規模盛土造成マップの作成及び公表
- 事業箇所 常滑市内
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 住民への情報提供及び啓蒙